

授業 科目名	【G】	体育実技Ⅳ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】1	
	【H】	体育実技Ⅳ			【H】3		【H】1	
	【I】	体育実技Ⅳ	その他参照		【I】3		【I】1	
科目区分	保健体育科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	レクリエーションスポーツと豊かなスポーツライフ				担当者	有働晃太		
授業概要	【 概 要 】	<p>様々なレクリエーションスポーツおよび運動実践を通して、それぞれの特性に触れ、スポーツの魅力や身体を動かすことの楽しさを体験的に理解する。 また、実践を重ねる中で、仲間との協働やフェアプレーの精神を学び、健全な「こころ」と「からだ」の調和的発達を促す。 さらに、各種スポーツの基礎的技術の習得やゲームにおけるチームワーク、リーダーシップの重要性を認識するとともに、スポーツを「享受する」視点を養う。 最終的には、生涯にわたり日常生活の中に身体活動やスポーツを取り入れ、主体的にスポーツライフを形成していく態度と実践力を高めることを目的とする。</p>						
	【 到 達 目 標 】	<p>各種スポーツの基本的なルール、技術、戦術を理解する。 実際にスポーツを行い、体力や運動能力を向上させる。 チームスポーツや個人競技を通じて、協調性や自己管理能力を高める。 スポーツを楽しむ心を養い、継続的な運動習慣を身につける。 各種スポーツを継続的に実践する方法を理解する。 スポーツマンシップとフェアプレーの精神を遵守し、スポーツを行うものとしての公正な態度を獲得する。</p>						
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ法コースの学生であること。</li> <li>・スポーツウェア、室内シューズ、タオル、飲み物および筆記用具を準備すること（授業で必要となる持ち物を別途指示することがある）。</li> <li>・2年生の履修を認める。（通常は3年生開講科目のため、3年生以上の履修を優先とする。）</li> </ul>							
アクティブラーニングの方法	【 - 】	事前学習型	【 - 】	反転授業	【 - 】	調査学習	【 - 】	フィールドワーク
	【 - 】	双方向アンケート	【 - 】	グループワーク	【 - 】	対話・議論型授業	【 - 】	ロールプレイ
	【 - 】	プレゼンテーション	【 - 】	模擬授業	【 - 】	PBL	【 - 】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎ (よく当てはまる)						
他科目との関	特になし。							
教科書	特になし。(授業中、必要に応じて資料を配布することがある。)							
参考書	特になし。							
評価方法	<p>授業全体の2/3以上の出席をしていること。 平常点(75%): 毎回授業の小レポートの提出(1回5点×15回分) 実技点(25%): 実技への積極的な参加や、スポーツマンシップやルールに則った授業態度、各種目への理解</p>							
フィードバック 方法	授業内において適宜フィードバックを行う。							
評価基準	授業内容について理解し、適切に実技実習ができた者は〈S〉や〈A〉、出席状況や授業内容の理解、実技実習に不適切な点がある者はその程度に応じて〈B〉または〈C〉とする。出席状況が不良の者および授業内容の理解や実技実習が不十分な者は〈D〉または〈E〉とする。なお、評価不能の場合には〈F〉とする。							

授業 科目名	【G】	体育実技Ⅳ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】1
	【H】	体育実技Ⅳ			【H】3		【H】1
	【I】	体育実技Ⅳ	その他参照		【I】3		【I】1
授業回数	授業内容						
1	オリエンテーション(本授業の内容および進め方、評価方法の確認、留意事項など)、アイスブレイク 予習: シラバスを読む、ウェアとシューズの準備、本授業の内容を理解する 復習: 説明内容の確認、授業についての説明の振り返り						
2	体づくり運動①(巧みな動きを高めるための運動・体の柔らかさを高めるための運動) 予習: ストレッチ、柔軟、体づくり運動について調べる 復習: 自身の体の使い方について振り返る						
3	体づくり運動②(力強い動きを高めるための運動・力強い動きを高めるための運動) 予習: 自分で行える自重トレーニングについて調べて、体の使い方を理解する 復習: 多様な動きの経験について振り返る						
4	ドッジビー①用具やルールの確認、基本技術の練習(パス、キャッチ、シュート) 予習: ドッジビーというスポーツについて調べ、用具やルールについて理解する 復習: 基本ルールや、技術、安全管理の振り返り						
5	ドッジビー②基本技術の練習、簡単な試合形式(ミニゲーム)での練習 予習: ドッジビーの映像を視聴し基本技術について理解する 復習: 自身や他の学生のプレー、練習方法や技術の振り返り						
6	フットサル①用具やルールの確認、基本技術の練習(パス、トラップ、ドリブル、シュート) 予習: 基本ルールの理解、用具の準備、片付けの方法 復習: 基本ルールや、技術、安全管理の振り返り						
7	フットサル②基本技術の練習、簡単な試合形式(ミニゲーム)での練習 予習: フットサルの映像を視聴し技術や動きを理解する 復習: 自身や他の学生のプレー、練習方法や技術の振り返り						
8	フットサル③試合形式での練習、基礎技術の応用 予習: ゲーム戦術の理解や、ボールを持っていないときの動きを理解する 復習: 戦術、オフザボールの動きの振り返り						
9	バスケットボール① 用具やルールの確認、基本技術の練習(パス、ドリブル、シュート) 予習: バスケットボールの動画を視聴する、ルールを理解する 復習: 基本ルールや、技術、安全管理の振り返り						
10	バスケットボール② 基本技術の練習、簡単な試合形式(ミニゲーム)での練習 予習: パス、シュートの技術を理解する 復習: 自身や他の学生のプレー、練習方法や技術の振り返り						
11	バスケットボール③試合形式での練習、基礎技術の応用 予習: ゲーム戦術の理解や、ボールを持っていないときの動きを理解する 復習: 戦術、オフザボールの動きの振り返り						
12	アルティメット①用具やルールの確認、基本技術の練習(パス、キャッチ) 予習: アルティメットについて調べ、用具やルールについて理解する 復習: 基本ルールや、技術、安全管理の振り返り						
13	アルティメット②基本技術の練習、簡単な試合形式(ミニゲーム)での練習 予習: アルティメットの映像を視聴し基本技術について理解する 復習: 自身や他の学生のプレー、練習方法や技術の振り返り						
14	スポーツ実技のまとめ① 予習: 今までの授業での実技実践の復讐 復習: 自身や他の学生のプレー、練習方法や技術の振り返り						
15	スポーツ実技のまとめ② 予習: 今までの授業での実技実践の復讐 復習: 自身や他の学生のプレー、練習方法や技術の振り返り						
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツパーソンシップ・フェアプレイに反する行為が見られた場合は即刻授業を停止する。</li> <li>・天候や受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合がある。</li> <li>・長髪の者はゴムなどで髪を縛り、運動の妨げにならないようにすること。腕時計、貴金属類は外して授業に臨むこと。</li> <li>・1回目の授業は授業評価や進行などを説明する大事な回になります。受講を希望する学生は必ず出席してください。</li> <li>・授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安とする。</li> </ul> ※G・H・I:法【選択】 スポ【必修】 情【選択】						